

# The Tokyo Tanuki Times

東京タヌキタイムズ

2010年5月号 通巻17号 毎月1日発行 購読無料

©MIYAMOTO Takumi,2010

責任編集：宮本拓海 発行：東京タヌキ探検隊！tokyotanuki.jp

## 追悼 池田啓先生

### コウノトリの先生はタヌキの先生でもあった



池田先生の著書より、「子ダヌキのいたずら日記」(写真左、1988年、ポプラ社)、これに加筆した「タヌキはぼくのたからもの」(写真中、ポプラ社、1994年)。児童書だがタヌキ研究の方法が書かれているのでなかなか興味深い。赤ちゃんタヌキを家で育てた話からはタヌキの成長の様子を知ることができる。写真右は「週刊 日本の天然記念物24タヌキ」(小学館、2002年)。この巻は池田先生ご自身が監修された。いずれも現在は入手困難。

2010年4月13日、兵庫県立コウノトリの郷公園参与(元研究部長)の池田啓(いけだ・ひろし)氏がお亡くなりになりました。60歳というまだ早すぎる死でした。池田氏はコウノトリの野生復帰の功績で非常に有名です。これについては私が語らずとも多くの人々が伝えてくれることでしょう。

一方で、池田先生はタヌキの研究者でもありました。大学院時代に長崎県の離島でタヌキの研究をし、博士号を得たのもタヌキの研究によってでした。皇居のタヌキの論文である「皇居におけるタヌキの食性とその季節変動」(2008、酒向・他)では謝辞の筆頭に池田先生の名前が登場しますし(おそらくいろいろと助言をしたのだらうと思われ)、引用文献にも池田先生の論文が多数登場しています。また、関東南部の大都市に生息するタヌキにも早くから関心を持っておられました。東京タヌキ探検隊！にとっては偉大なる先人と言える方なのです。

### 池田先生との接点

宮本と池田先生との接点は「週刊日本の天然記念物 動物編」(小学館、2002年～2003年、全50巻)でした。池田先生はシリーズの総監修を担当されました。宮本は外部スタッフとして編集・イラストで参加しました。池田先生は当時コウノトリの郷公園研究部長でしたが、タヌキの専門家でもあることを私は初めて知りました。この時期は私の東京タヌキの情報収集も始まっていた頃です。しかし私は下っ端のスタッフですから池田先生とじっくり話をする機会などほとんどありません。それにこちらも成果がほとんどなかった頃でしたのであまり話すことも無かったです。また、この時に池田先生が私と同じ大学出身であることを知りました。といっても年齢も学部も違いすぎていますから大学構内で出会ったことはありません。

池田先生との直接の接点はこの時だけでしたが、私が東京タヌキの本を書いた時には献本をしまして、

毎年の報告書もメールでご案内していました。私の調査研究もこれからいろいろと成果を出せそうになってきた矢先の訃報でした。池田先生に成果を見ていただくことが私の目標のひとつただけに非常に悲しいことです。

### タヌキの本当の姿を伝える

池田先生はコウノトリをはじめ多くのことにかかわってきましたが、「タヌキの本当の姿を知ってもらう」ことも重要な仕事だと考えておられたはず。それは私自身の目標とも重なります。目標を目指して私の東京タヌキの調査研究もまだまだ続いていきます。

## スポンサー枠

スポンサー募集中です！

東京都および周辺地域のタヌキ情報を集めています。

<http://tokyotanuki.jp>